

AFTER THE RUNWAY







vol.01



産地の技術とアーティストの感性

CRAFTED TO INSPIRE



AFTER THE RUNWAY

バテンレース／伝統野菜柄ジャカードニット／
亀田縞／絹織物／ガーゼウエア／
ハイゲージニット／刺子織／先染め織物











AFTER THE RUNWAY

Prologue



左　ベスト：(株) ナック × 蓮沼千紘　巻きスカート／an/eddy (蓮沼千紘)
右　ベスト：(株) ナック × 蓮沼千紘　シャツ・ネクタイ：立川織物
ニットハーフパンツ：ショービース (蓮沼千紘)　パンツ：chess (株) 亀紺屋

日々、実直にものづくりと向き合う新潟の産地に TGC NIIGATA SPECIAL COLLECTION での衣装制作の話と、その衣装制作を手がけるアーティストがやってきた。これまで接点のなかった両者が顔を合わせ、短い期間でコラボレーションを実現し「参加してよかった」と思えるショーを目指した。産地が長年培ってきた技術とアーティストの感性がどのような衣装を生み出したのか。本書は、両者が長年作り続けてきたものを組み合わせ、互いの魅力を引き出す新たなスタイリングやドッキング、TGC新潟があったからこそゼロから生まれたクリエイションまで、一着一着の表情と、その背景にあるものづくりの入り口となる一冊だ。2026 年 7 月 18 日、TGC NIIGATA SPECIAL COLLECTION のランウェイは大成功に終わった。けれど、このお祭りを点で終わらせず、産地のいままでと私たちのこれからをつなぎ、新たな軌道をともに描いていく。AFTER THE RUNWAY——私たちの物語は、ここから続いていく。

Crafted to Inspire

02 **Runway Look 01**
Battenberg Lace Piano Cover Dress & 糸うり Jacquard Set-Up

04 **Runway Look 02**
Battenberg Lace Collar Docking Style & Rice Straw Boots

06 **Runway Look 03**
Yarn-Dyed Check Dress

08 **New Look 01**
Layering Across Regions

09 **New Look 02**
Layering Across Regions

10 **Runway Look 04**
Fluttering Silk Stole Dress

12 **New Look 03**
Layering Across Regions

13 **Runway Look 05**
黒十全ナス Jacquard Jumpsuit

14 **Runway Look 06**
Gauze Pajamas & Torn-Gauze Knit Bolero

16 **Runway Look 07**
Sheer Metallic Knit Lace Dress

18 **Runway Look 08**
Sashiko Set & Pattern Layering

19 **New Look 04**
Layering Across Regions

22 **Meet the Makers**

26 **From Here Forward**



蓮沼 千紘　Chihiro Hasunuma

神奈川県横浜市生まれ。文化服装学院ニットデザイン科を卒業。卒業制作において学院長賞を受賞。卒業後、株式会社ベイクルーズに入社し、ジャーナルスタンダードのレディース部門でデザイナーを 3 年間務める。2011 年に退社後、専門学校での 2 年間の非常勤講師などを経て独立。ハンドニットレーベル「an/eddy（あんえでぃ）」を主催。服、アクセサリー、インテリア作品などを制作し、国内外で販売するとともに、ニットアーティストとして活動する。独創的な作品は、雑誌、広告、映像、ミュージシャンの衣装などに起用される。空間装飾、巨大オブジェ、舞台美術、ワークショップ、企業アートワーク、さまざまなジャンルとのコラボレーションなど、「編む」という手法で多岐にわたる活動を展開している。

CREDIT

Knit Artist, Edit
Chihiro Hasunuma

Design
Yuta Enoki

Stylist
YAMAMOTOHIROKO

Hair&Make
YosukeToyoda (Rooster)

Photograph
Yoshitake Hamanaka

Model
Hikaru Chiba
Mitsuki Enai

発行日：2026 年 11 月 13 日

印　刷：株式会社 DI Palette
発　行：新潟県

© 新潟県

無断転載禁止

Runway Look 01

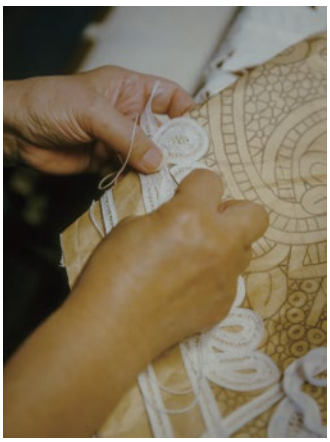
Battenberg Lace Piano Cover Dress & 糸うり Jacquard Set-Up



マント／蓮沼千紘
ドレス／吉田バテンレース × 蓮沼千紘
カフス／吉田バテンレース
糸うり柄ニットセット／（株）ナック × 蓮沼千紘
パンプス／ Sellenatela

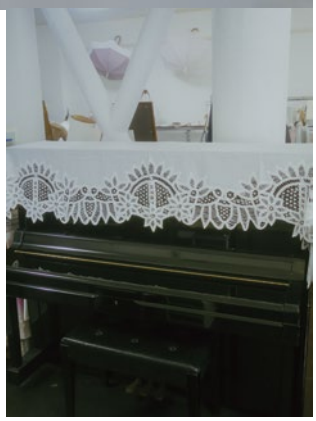
吉田バテンレースを代表する製品の一つであるピアノカバー 4 枚を、一着のドレスに変身させました。新潟の伝統野菜「糸うり」をモチーフにデザインしたニットジャカードのセットは、（株）ナックで編みデータの作成から編み立て、縫製まで手がけていただきました。







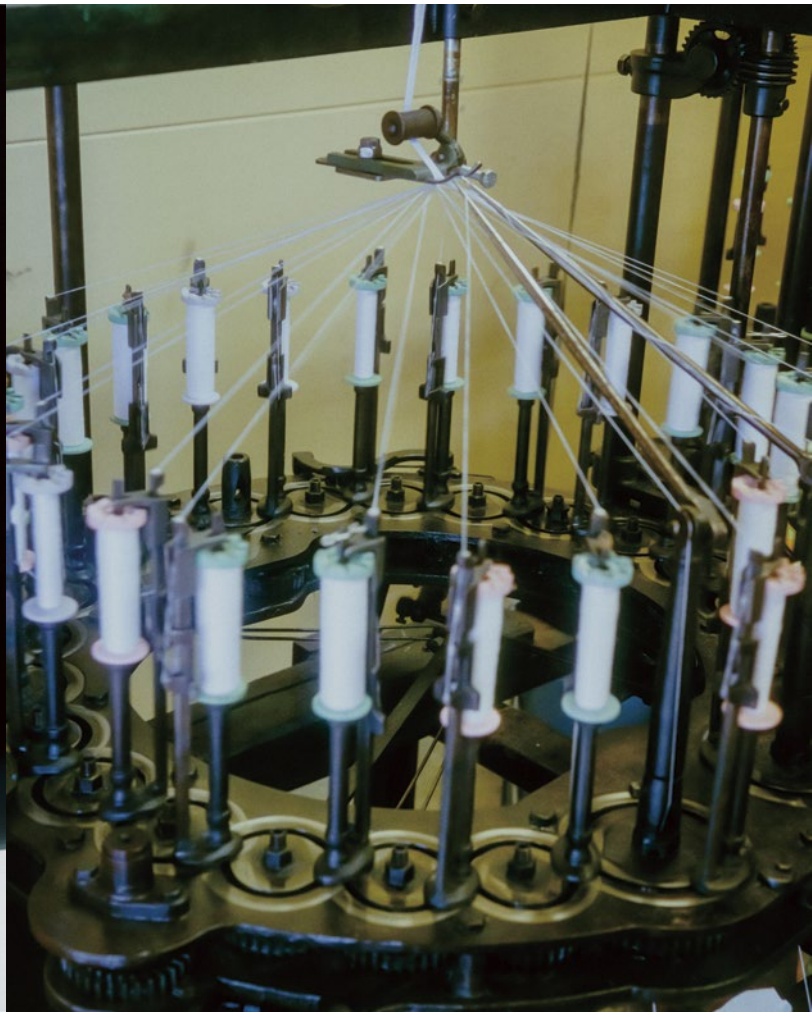

14G
SES122-S
9号機

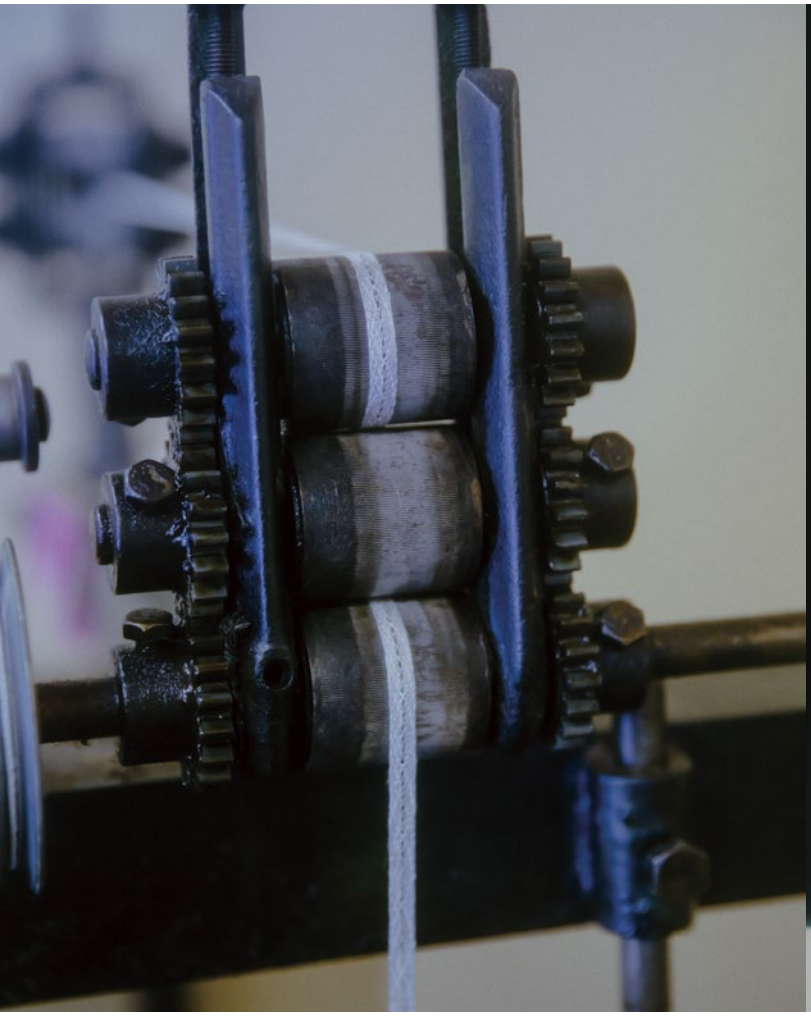


Runway Look 02

Battenberg Lace Collar Docking Style & Rice Straw Boots









吉田バテンレースのレースつけ襟をラッフル使いして、
蓮沼千紘のアーカイブ作品にドッキング。2つの作品が
特別な一着へ再構築されました。バテンレースのチョー
カーつけ襟も、このルックのポイントになっています。

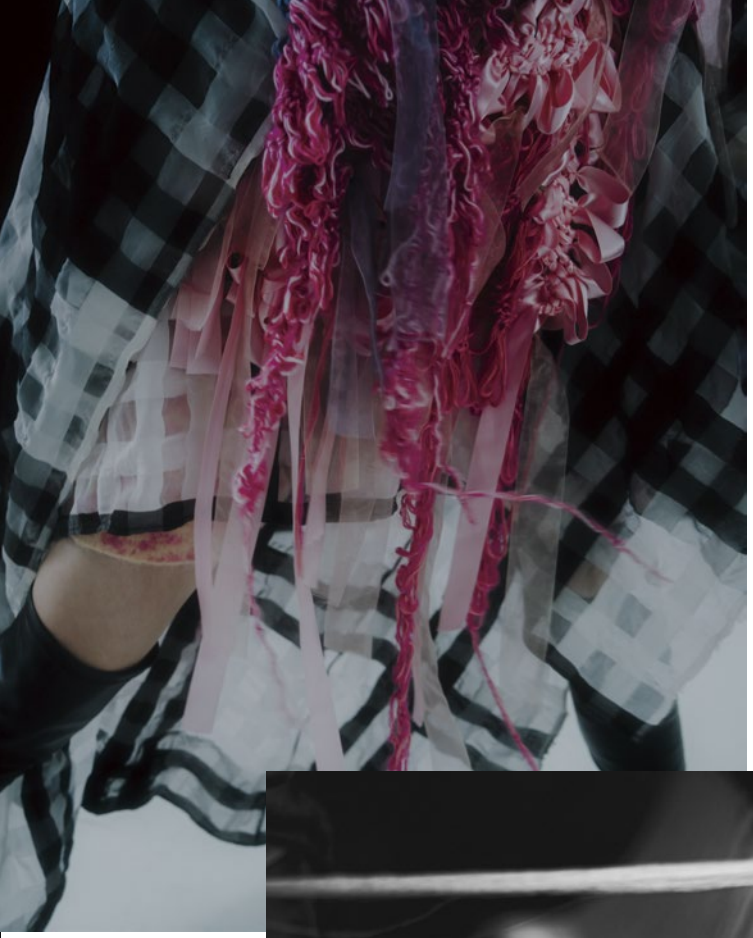
チョーカー／吉田バテンレース　トップス／吉田バテンレース × 蓮沼千紘　ショートパンツ／蓮沼千紘　稲わらブーツ／蓮沼千紘



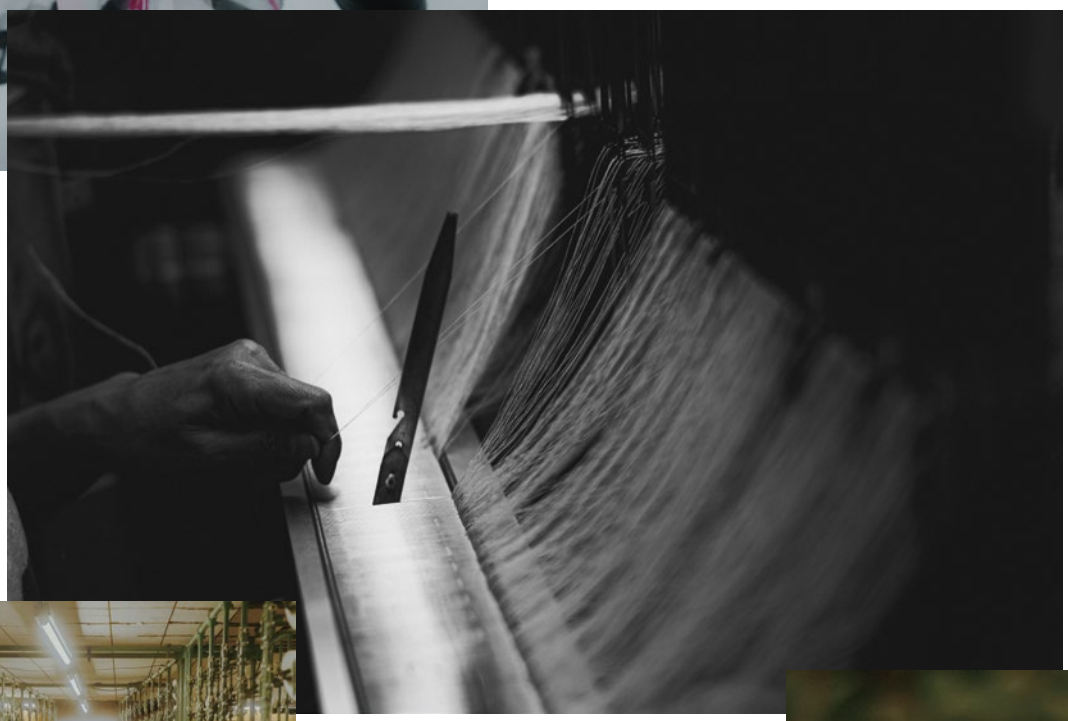
Runway Look 03

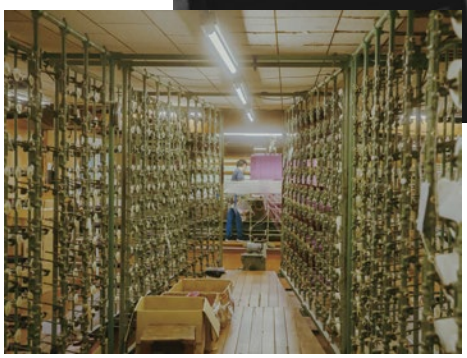
Yarn-Dyed Check Dress

(株)匠の夢の先染め織物からシースルーのチェック柄を選び、ランウェイを歩くたびに裾がたなびく、オーバーサイズのドレスに仕立てました。モノトーンを引き立てるよう、対照的なピンクのハンドニットのジレを重ね、袖口にも同じハンドニットをあしらいました。伝統野菜の神楽南蛮をモチーフにしたジャカードのセットには、(株)ナックが得意とする洗いと起毛加工の技術が生かされています。ふかふかとした風合いを引き出し、着心地よく仕上げていただきました。



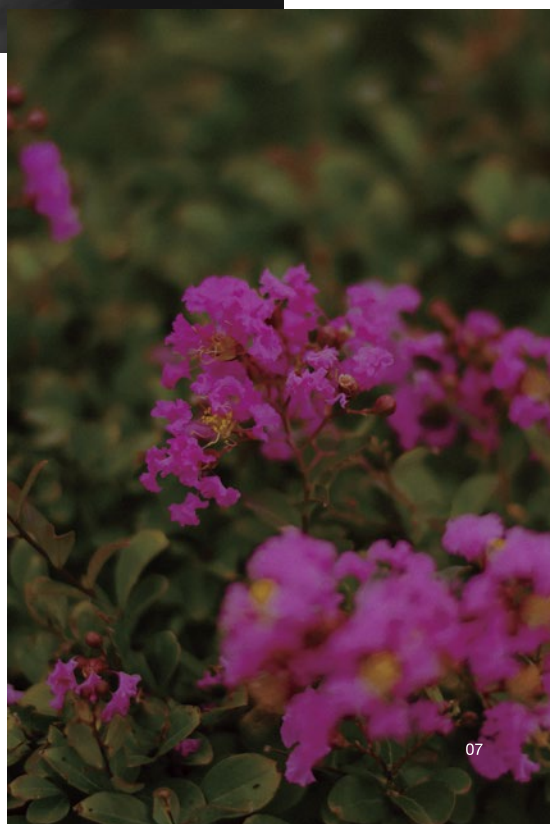








稲わらヘッドピース／蓮沼千紘
チェックオーバードレス／（株）匠の夢
ジレ／蓮沼千紘
インナーニットセット／（株）ナック × 蓮沼千紘



New Look 01

Layering
Across Regions





フード付き羽織／立川織物
マフラー／（株）アオ
インナーニットセット／（株）ナック × 蓮沼千紘
バテンレースパラソル／吉田バテンレース
カフス／吉田バテンレース



カーディガン／ROUTINE（株）ナック
ストール／ROSHA（株）横正機業場
シャツ／（株）匠の夢
パンツ／chess（株）亀紺屋
ラメニット／（株）ウメダニット
アームカバー／立川織物
ブーツ／Kids Love Gaite





New Look 02

Layering Across Regions





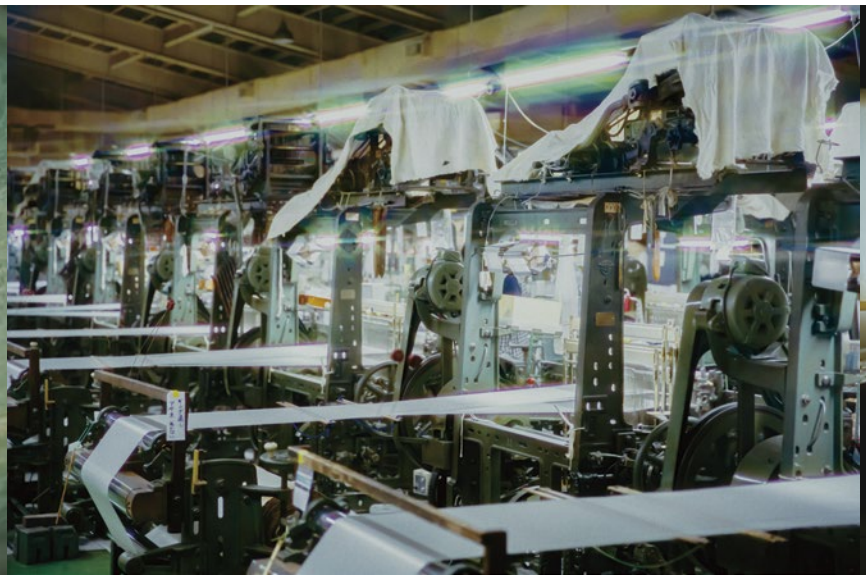



Runway Look 04

Fluttering Silk Stole Dress

ROSHA のシルクストールの豊富な色展開から 3 色をセレクトし、色が重なり合う美しさと、上質で軽やかな素材感が生きるドレスをデザインしました。ストールから立ち上がってきたデザインを、蓮沼がゼロから編み上げた特別な一着です。

ドレス／ ROSHA（株）横正機業場 × 蓮沼千紘　リアルニットプリント羽織／蓮沼千紘　稲わらブーケ／デザイン：蓮沼千紘、制作：阿部花　イヤリング／蓮沼千紘






ビスチェ／ an/eddy（蓮沼千紘）
エプロン／立川織物
スカート／吉田バテンレース
シャツワンピース／（株）アオ
ブーツ／ Sellenatela





New Look 03

Layering Across Regions

Runway Look 05

黒十全ナス Jacquard Jumpsuit



つなぎ／（株）ナック × 蓮沼千紘　ミラーニットネックスカーフ／蓮沼千紘　稲わら米袋バッグ／吉田バテンレース × 蓮沼千紘　ブーツ／Kids Love Gaite

ショールックのスタイリングをともにつくり上げたスタイリスト・遠藤リカさんのつなぎブランドから着想を得た、ニットジャカードのつなぎルックです。立体的な袋ジャカードで黒十全ナスの柄を編み立て、縫製まで手がけたのは（株）ナック。田植えの際の泥汚れを表現した染色は、東京の（株）内田染工場が、美しいグラデーション染めによって実現してくださいました。米袋をインバッグに用い、稲わらを編み込んだバッグには、黒十全ナスの花をモチーフにしたバテンレースをあしらいました。このレースは、吉田バテンレースが本ショーピースのためにオリジナルで製作してくださいました。

Runway Look 06

Gauze Pajamas & Torn-Gauze Knit Bolero

(株)アオの、軽やかでやわらかな着心地を追求したガーゼでパジャマをつくりました。新潟へ注目を集める意味を込めた「＃(ハッシュタグ)」を、ブリーチとスプレー染めで表現してくださったのは(株)内田染工場です。ガーゼを裂いてテープ状にしたものは、ワイヤーニットボレロにも編み込んでいます。レイヤードのコントラストを生むために、(株)ウメダニットのラメニットレースでノースリーブを仕立てました。パターンを裁断する際に出たニットレースの端材も、ガーゼパジャマの袖口に装飾として取り入れています。

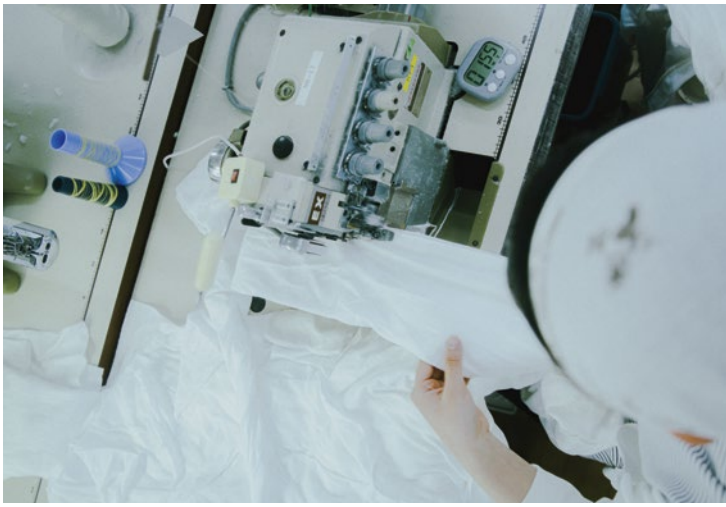
チェック柄パジャマ＆ラメニット＆ハッシュタグスプレー染／
(株)アオ × (株)ウメダニット × (株)内田染工場 × 蓮沼千紘
ワイヤーニットボレロ／ (株)アオ × 蓮沼千紘
ラメニットノースリーブ／ (株)ウメダニット × 蓮沼千紘
ブーツ／ Kids Love Gaite















フード付きドレス／（株）ウメダニット × 蓮沼千紘
ロングアームカバー／（株）ウメダニット × 蓮沼千紘
サンダル／ Sellenatela





Runway Look 07

Sheer Metallic Knit Lace Dress

2018 年に蓮沼千紘が制作した、ミラーを編み込んだアーカイブドレスと、（株）ウメダニットが手がけるシースルーのラメニットレースが、2026 年のランウェイで出会いました。ミラーが反射する光に、繊細な編み地の透け感とラメ糸のきらめきが重なり、ドレスに軽さと奥行きが生まれました。時を経て、産地の技術とアーティストの感性が融合した一着です。





ストレッチ刺子（SSF）ワークジャケット／chess（株）亀紺屋
ジャカードベスト／（株）ナック × 蓮沼千紘
シャツ・ネクタイ／立川織物 × 蓮沼千紘
ストレッチ刺子（SSF）パンツ／chess（株）亀紺屋
ニットハーフパンツ／蓮沼千紘
ブーツ／Kids Love Gaite

Runway Look 08

Sashiko Set & Pattern Layering

（株）亀紺屋が独自開発したストレッチ刺子（SSF）でつくられたワークジャケットとパンツに、（株）ナックのジャカードベスト、立川織物の亀田縞を使ったストライプシャツとネクタイ、蓮沼のハンドニットハーフパンツを重ねました。多色で多様なレイヤードを、ワークウェアの硬派な力強さでまとめたルックです。シャツとネクタイの仕立ては、テーラリングブランドの OLD HAT が手がけてくださいました。





New Look 04

Layering Across Regions





ストレッチ刺子（SSF）ワークジャケット／ chess （株）亀紺屋
ジャカードベスト／ （株）ナック × 蓮沼千紘
フード付きニットアウター／蓮沼千紘
巻きスカート／ an/eddy（蓮沼千紘）



NAMICS presents TGC NIIGATA 2026 by TOKYO GIRLS COLLECTION　TGC NIIGATA SPECIAL COLLECTION

2026年7月18日（土）　朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

国内有数の繊維産地として世界に誇る新潟県の技術力と、トップクリエイターの感性が融合したスペシャルコレクションを開催しました。
https://tgc.girlswalker.com/niigata/2026　Knit artist：蓮沼千紘

Music：Kyoka　Styling：遠藤リカ

Knit Artist
蓮沼 千紘
ChihiroHasunuma





主な活動・制作実績

【衣装制作】
アーティスト
［CHARA］2014 初台湾フェスライブ 2015tour「SecretGarden」「LIVE on the BEACHIN OKINAWA」2018 SweetSoleSessionTour「Shut Up and Kiss Me!」2019BabyBumpTour「Baby Shower」2020 台湾初単独ライブ 2021「Chara’s Time Machine 30th Anniversary Live」2024「森道市場」「大楽都祭」「mojyo poppcorn tour BLUE NOTE」2026 ArtistPhoto、「Adorable」cover［MISIA］2017「MISIA SOLE JAZZ SESSION」［miwa］2018 武道館「We are the light」［乃木坂46］2020MV「毎日が Brand new day」［King Gnu］2021MV「泡」［小此木麻里］2021「Friends of Disney Concert」［藍井エイル］2022 ミュージックステーション［高井息吹］2023「高井息吹と眠り星空 Billboard Live Tokyo」［aiko］2023「MTVJapanVMAJ ライブ」2024「Love Like Pop vol.24 東京ドーム公演」［生田絵梨花］2024「Erika Ikuta Tour 2024 capriccioso」［花澤香菜］2024ZeppTour［櫻坂 46］2024「10th Single “I want tomorrow to come” Cover」［Little Glee Monster］2024MV「Break out of your bubble」［PORIN］2024 ライブ［中島健人］「N/bias 初回限定盤 BCover&Booklet」［SCANDAL］2025ArtistPhoto、TourCostume［sumika］MV「Vermillion」［ヒグチアイ］2025AlbumCover「秘密主義」［日向坂 46］2026MV「好きになるクレッシェンド」［Mrs.GREEN APPLE］2026MV「風と町」若井滉斗衣装［セントチヒロ・チッチ］2026ArtistPhoto&2nd Album「やさしい引力」cover
CM、舞台、広告、プロジェクト
［LOVOT］2019 広告衣装［綾鷹］2025 宇多田ヒカル衣装［マームとジプシー］2025「Curtain Call」［FashionForms］2025「The way of co-creation.」［NAMICS presentsTGC NIIGATA2026byTOKYOGIRLSCOLLECTION］

【空間装飾】
2018 ラフォーレミュージアムエントランス
2019~ Cafe ROKKANROOM（奈良県）
2019 NEWoMan Shinjyuku 1 階エントランス、2 階エントランス、ウィンドウ、4 階ラウンジ
2020 UNIQLO CREATOR COLLABORATION(銀座店)、DTC creative session OLAibi×KOM_I× 小学生アーティストライブステージ
2022-2024 成田空港第3ターミナルエントランス
2024 阪急梅田 - Knit Fantastic! -
2024 ジェイアール名古屋タカシマヤ 中央ブロック入口メインステージ、4 階、5階
2025 伊勢丹新宿本館 5 階 RE THREAD
2025 阪急うめだ本店1階コトコトステージ12
2025 NU 茶屋町 4 メートル屋外展示クリスマスツリー、1階コリドールプラザアートオブジェ

【企業との協業、アートワーク】
［コカ・コーラ社］2020「GEORGIA LATTENISTA」広告アートワーク［Panasonic］2023~「タングステン極細線 "Respect for Spider」映像広告作品提供、出演［東京テアトル］2023「SCREEN」広告衣装

【an/eddy】作品販売店一覧
priere(京都)、KIMONOARCH（原宿、下北沢、パリ)、MashRoomMacau（マカオ)、CHORD the store（上海）

Meet the Makers

（株）ウメダニット 1961 年創業　五泉市









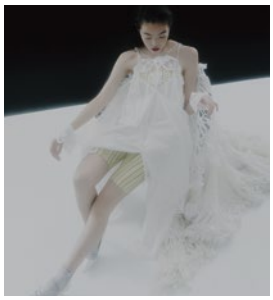

（ニット製品の製造・販売）　〒959-1835 新潟県五泉市今泉 137　https://umeda-knit.com/

（株）ウメダニットは、1961 年創業、新潟県五泉市を拠点とする 60 年以上の歴史を持つニットファクトリー。きれいな編み地に仕上げることのできるハイゲージを強みとし、セーターにとどまらず、コートやジャケット、ワンピース、パンツなど、幅広いニット製品を手がけている。編み地の設計からパターンメイキング、縫製まで、ものづくりの各工程を連動させ、高い完成度を追求。OEM・ODM 生産に加え、2012 年からは「WRAPINKNOT」、2022 年には「UMEDA」、2025 年には「PURLAM」と自社ブランドも展開し、企画・生産・販売を横断した新たなものづくりに挑戦している。

（株）ナック 1973 年創業　五泉市









（ニット製品の製造・販売）　〒959-1825 新潟県五泉市太田 619　https://www.nac-knit.com/

（株）ナックは、創業 50 年を超える新潟県五泉市のニットメーカー。整理加工からスタートし、現在では編立、縫製、アイロン、起毛加工まで幅広い工程を自社で手がける「ニット生産一貫工場」として、高い技術力を培っている。特に、植物のチーゼルを使った起毛加工など、職人の技術を生かしたものづくりを強みとする。OEM 生産に加え、近年は「ROUTINE」や「Rebirthread」などのファクトリーブランドを展開。余った糸を活用した製品づくりなど、サステナブルなものづくりにも取り組み、ニットの新たな価値を発信している。

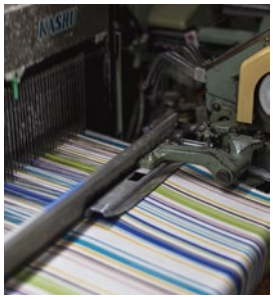
企業紹介

（株）匠の夢 1958 年創業　見附市









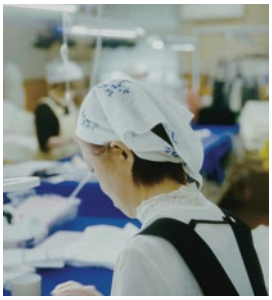
（先染め織物の製造・販売）　〒954-0051 新潟県見附市本所 1-4-17　https://takumidream.stores.jp/

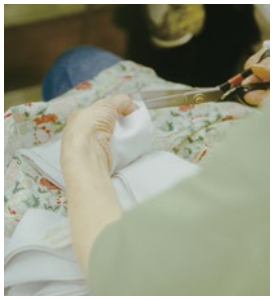
（株）匠の夢は、新潟県見附市を拠点とする織物メーカー。先染めした異素材の糸を織り上げるジャカード織とドビー織を得意とし、豊かな表情を持つオリジナル生地を生み出している。糸の染色・糊付け以降の工程を内製化し、品質の安定と技術の向上・継承に取り組んでいる。全幅で大柄を表現できるジャカード織機や、20 枚組織の変り織りに対応するドビー織機など、多様な設備を備え、300m 以下の小ロットからオリジナル生地の別注にも対応。培ってきた織物技術を生かし、さまざまなニーズに応えるものづくりを続けている。

（株）アオ 2012 年創業 ※ブランドスタートは 2005 年　糸魚川市









（ガーゼ服の製造・販売）　〒941-0003　新潟県糸魚川市大字中宿 942　https://www.ao-daikanyama.com/

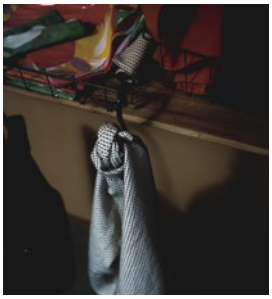
（株）アオは、新潟県糸魚川市を拠点に、天然素材を使ったガーゼ服ブランド「ao」を展開。2005 年に、赤ちゃんの産着などに使われる身近な素材「ガーゼ」を洋服にできないかという想いからスタートした。創業 50 年を超える縫製工場の技術を生かし、素材の風合いを大切にした生地づくりから、パターン、縫製、製品化まで丁寧なものづくりを行っている。余計な加工を施さず、洗いざらしの心地よさを引き出すことを大切に、レディース、ベビー、生活雑貨など幅広い製品を展開。近年は、ガーゼのやさしい風合いを生かした新たな製品開発にも取り組み、ガーゼの可能性をさらに広げている。

Meet the Makers

（株）亀紺屋 2020 年創業　新潟市中央区









（刺し子織製品等の企画・販売）　〒951-8144 新潟県新潟市中央区関南町 10-37　https://kamekonya174.base.shop/

（株）亀紺屋は、1748 年創業の染工場をルーツとし、伝統的な日本の半纏文化や刺子織の技術を受け継ぎながら、現代の暮らしやファッションに合わせた新たなものづくりに挑戦している。近年は、自社ブランド「chess」を展開し、刺子本来の丈夫さや風合いを生かしつつ、伸縮性を持たせた「ストレッチ刺子」を開発。ジャケットやバッグなど、日常で楽しめる製品へと展開している。伝統をそのまま守るのではなく、現代に合わせて進化させることで、「新しい伝統」を生み出している。

立川織物 1884 年創業　新潟市江南区










（綿織［亀田縞］の製造・販売）　〒950-0131 新潟県新潟市江南区袋津 3-1　https://kamedajima-tachikawa.com/

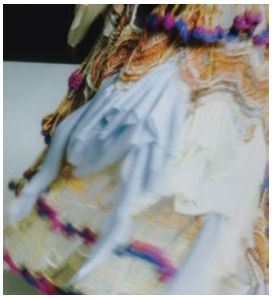
立川織物は、明治 17 年創業、新潟市江南区（旧亀田町）を拠点とする織物メーカー。300 年以上の歴史を持つ伝統織物「亀田縞」の製造・販売を手がけている。亀田縞は、糸を先に染めてから織り上げる綿織物で、丈夫で水に強く、使い込むほど肌になじむ風合いが特徴。立川織物では、地域に残る縞見本帳などをもとに、半世紀ぶりに亀田縞を復活させ、伝統の技術を現在へと受け継いでいる。現在は、薄地・普通地・厚地など多様な生地を展開するほか、洋服やバッグ、生活雑貨などにも製品の幅を広げ、現代の暮らしに合わせた亀田縞の新たな魅力を発信している。

企業紹介

(株)横正機業場 1900 年創業　五泉市









(白生地[絹織物]の製造・販売)　〒959-1824 新潟県五泉市吉沢 1-2-38　https://yokosho.co.jp/

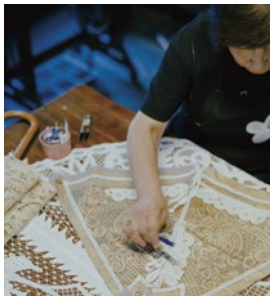
(株) 横正機業場は、100 年以上にわたり新潟県五泉市で絹織物を織り続けてきた白生地工場。日本三大白生地産地の一つに数えられる五泉の豊かな水と、長年培われた職人の技術を生かし、着物や法衣に用いられる緻密で美しい絹織物を生産している。伝統の技術を未来へつなぐため、シルクブランド「ROSHA」を立ち上げ、現代の暮らしに寄り添う新たなシルクの可能性を追求。次の 100 年も絹を織り続けていくために—。伝統と革新を織り交ぜながら、五泉シルクの未来を切り拓いていく。

吉田バテンレース 1892 年創業　上越市







(バテンレース製品等の製造・販売)　〒943-0825　新潟県上越市東本町 2-2-2　https://battenlace-yoshida.jp/

吉田バテンレースは、明治 25 年に創業。新潟県上越市高田を拠点とし、バテンレース製品の製造、販売を行っている。明治から受け継がれてきた伝統技法を大切に、職人が一つひとつ手仕事で丁寧に仕上げている。新潟県の伝統工芸品にも指定されているバテンレースは、ブレードと呼ばれる布テープで輪郭を描き、その内側を針と糸で手縫いでかがり仕上げる繊細な技法が特徴。材料となるブレードの製造から、レースの縫製・仕上げまで自社で一貫して行っている。日傘やバッグ、つけ襟など、伝統技術を生かしながら現代の暮らしに取り入れやすい製品も展開し、バテンレースの新たな魅力を発信している。

From Here Forward
アンケート

今回のコラボレーションを通して、自社の素材や技術について新しく発見したこと、印象に残ったことはありますか？

（株）ナック
これまで「良いものをつくる」ことに意識が向きがちでしたが、今回の経験で、その技術をどう発信し、どう楽しんでもらうかという視点にも気づきました。技術を守る・継承するだけでなく、次の世代に面白いと感じてもらえるかたちで伝えていく事も、これからのものづくりに大切だと感じました。

立川織物
伝統ある亀田縞が、現代的なファッションや洗練されたシルエットに生まれかわったことに感動しました。優美で繊細な十日町の着物などと違い素朴で頑丈な風合いが、最先端のステージで全く新しい輝きを放つ姿に、素材が持つ無限の可能性と伝統技術の深さを改めて発見しました。

（株）亀紺屋
重厚感があるスイングトップに華やかなニットを組み合わせたことの素晴らしさに感動をしています。日本だけでなく世界でも通用するファッションに変化したのではないでしょうか。

吉田バテンレース
今回のコラボレーションを通して改めて感じたのは、長い年月を経て受け継がれてきたものでも、決して古いものではないということです。当店のバテンレースは、代々受け継いできたデザインやモチーフ、そして技法を今も使い続け、商品に取り入れています。それは単に昔のものを受け継ぐためだけではなく、苦しい時代にもこの手仕事を絶やさず、次の世代へとつないできた多くの職人たちへの敬意でもあります。今回、デザイナーさん、スタイリストさんの感性によって、昔から受け継いできたバテンレースが若い世代にも自然になじみ、これまでとは違う新しい表情を見せてくれたことが、とても印象に残りました。「良いものは時代を越える」。守るべき技術や技法は大切に守りながら、時代に合わせてつくるものや見せ方を変えていくことで、バテンレースにはまだまだ新しい可能性があると改めて感じました。

蓮沼千紘
長い年月をかけて独自性を築き、技術を守り抜いてきたからこそ、各社のものづくりには確立された個性がありました。だからこそ衣装制作でも、どの企業とどんなものをつくるかを具体的にイメージできました。企業、ブランドの垣根を超え、技術と感性が融合することで新たな表現が生まれたと思います。

完成した衣装や、ランウェイで着用された姿をご覧になって、どのように感じましたか？

（株）ナック
素直に感動しましたね。普段は工場の中でものづくりをしているので、完成した製品が実際に人に着てもらい、たくさんの方の前で表現されている姿を見るのは、とても新鮮な経験でした。「糸から一着の服をつくる」という自分たちの仕事が、こうしてファッションの舞台につながっていることを実感でき、改めてものづくりの面白さや誇りを感じました。

（株）横正機業場
軽やかさと、彩りという点で華を添えることができたと感じた反面、パーツでは自分たちの生地の魅力を伝えるのは難しいと感じました。

（株）匠の夢
素直に、弊社の生地の製品が、
素敵でカッコ良く見えて、嬉しかったです。

（株）アオ
当社にはない魅せ方・伝え方の方法を学ぶことができました。改めてメディアの力を感じました。

吉田バテンレース
最初に登場した「これぞバテンレース」と感じる真っ白なワンピース。その姿が現れた瞬間、静寂の会場が一気に引き込まれ、誰もが息をのむような瞬間でした。透け感や揺れによって生まれる表情も見事で美しさに圧倒されました。つけ襟や十全なすのモチーフが可愛らしいアクセントとなり、さらに男性が持つバッグへの採用など、新たな可能性を引き出して頂きました。そして最後の総バテンレースのピンクの日傘とカフス。赤とピンクのコントラストも見事で、白から色ものまでバテンレースの魅力を多角的に引き出していただき、長年携わってきた私たちでさえ、震えるほどの感動と衝撃を受けたランウェイでした。

（株）亀紺屋
ランウェイをしているモデルさんを見てストレッチ素材が生きていると感じました。また、中高年向けが顧客層と思っていましたが今回を通して、若い方にも着こなせることができそうだと感じています。当ブランドの希望が見えました。

新潟県 地域産業振興課
これまで新潟県の繊維産業は、技術力や品質の高さを中心に PR してきました。今回、県内の生地や製品がランウェイを彩る華やかな衣装となり、ファッションを通じた新たな魅力の伝え方と、産地の可能性を実感しました。会場で衣装を見つめる企業の皆様の、嬉しそうな、誇らしそうな表情も印象に残っています。自分たちの仕事が多くの方に届くことは、作り手自身の誇りや励みにもつながるのだと感じました。

蓮沼千紘
ステージ衣装は一度に大勢の人が見ることができます。服は誰かが着て初めて完成する。着る人の体格やスタイリングによって完成は変わり、身体の動きを拡張しリズムを視覚化します。パフォーマンスの中でデザイン、素材感、柄の表情が豊かになるのです。衣装制作の期間は短く、各社の限られた条件の中で魅力を伝えられるコラボレーションになるよう心がけました。

今回のTGC新潟を「漢字一文字」で表すとしたら？

舞（株）ナック
祭（株）ウメダニット
縁 立川織物
支（株）横正機業場
匠（株）匠の夢
華（株）アオ
結 吉田バテンレース
光（株）亀紺屋
変 蓮沼千紘

TGC新潟への参加前と参加後で、何か変化はありましたか？
周囲からの反応や印象的な出来事があればぜひ教えてください。

（株） アオ　社員や社員の家族からの反応が多く寄せられました。また、若い社員などの反応が特に多く感じました。

（株）ウメダニット　今回社内の若い人３名に行ってもらいましたが、他の人達も羨ましがっていました。

（株）ナック

今回TGC新潟という若い世代にも影響力のある舞台に関わったことで、ニットの魅力を伝える方法は、従来の展示会や販売だけではないと改めて感じました。影響力のあるイベントだったのでスタッフ含め関係各所から TGC 新潟の件で声を掛けてもらえる事が多々ありました。ものづくりの技術をファッションやエンターテインメントと掛け合わせることで、新しい可能性が生まれる。今後も、五泉ニットを知らない人たちに興味を持ってもらえるような挑戦を続けていきたいですね。

立川織物

伝統ある亀田縞がTGC新潟という大舞台に採用され、仲間たちも「自分たちの仕事が世界や若者に届くんだ」と大きな誇りと活気に包まれました。関係者からも「地元・新潟の誇りだね」「すごく素敵だった！」とたくさんの温かい反響をいただき、作り手としてのモチベーションが一段と高まる素晴らしい転機となりました。

吉田バテンレース

TGC新潟への参加が決まってから当日まで、職人たちにとって、ものづくりの楽しさや、ものをつくる原点の気持ちを改めて思い起こす、貴重な機会となりました。また動画、メディアを通して多くの方がTGC新潟への参加を知ってくださり、催事や店舗では「あのランウェイに感動しました」と直接たくさんお声をかけて頂きました。特に、世代を問わず多くの方から、反響を頂いたことが印象に残っています。TGC新潟という舞台を通して、バテンレースをより幅広い世代の方に見ていただけたことを実感しています。

蓮沼千紘

衣装が生み出す着る人の高揚感はパフォーマンスに表れ、観る人の気持ちにも伝わります。会場のボルテージや歓声には、着る人自身の影響力に加えて、衣装のクオリティが作用していると考えるべきです。衣装制作することで、作り手の日頃の仕事の成果を家族も一緒にステージ上やメディア、YouTube などで目にする機会になったと思います。

新潟県 地域産業振興課

参加企業募集の段階では不安もありました。新潟の繊維製品は技術力と品質が高い分、高単価になります。若い世代への PR が実際の購入につながるのか、ニットや織物、レースなど幅広い素材の魅力をどう伝えるか、という課題がありました。そうした中、TGC新潟開催の 2 か月前に行われた蓮沼さんの産地訪問を機に、新しいデザインの可能性に触れ、皆さんのクラフトマンシップに火が付きました。関係者全員が熱量を高めながら本番を迎え、大成功で終えられたことは、県としても感無量でした。

これから「こんなことをやってみたい！」と思うことはありますか？

蓮沼千紘

1回目は体験で、2回目以降が経験だと思っています。今回のような大きなイベントや、それをきっかけとした私とのコラボレーションも、回を重ねて経験を積むことでよりよいものづくりにつながっていくことを願っています。衣装として造形を魅せるだけでなく、各社が追求する機能性も伝えられるようなデザインを考えたいです。今回はランウェイ終了後に数点の作品が展示されました。衣装に触れたり、着用できたり、受け手がさらに産地の技術を実感できり作り手とのコミュニケーションを取れる機会を作れたらいいなと思います。

新潟県 地域産業振興課

今回をきっかけに、産地と異業種のコラボレーションが広がっていくことを期待しています。音楽やアニメ、アートなど、これまで接点のなかった分野とつながることで、新潟県の繊維産業の新しい魅力や見せ方が生まれるのではないでしょうか。例えば、音楽フェスでアーティストの衣装や会場装飾に県内の生地・製品を活用すること。また、「長岡花火を生地や製品で表現したらどうなる？」というテーマで各産地や企業が模様を制作し、展示することなども面白いと思います。若い世代が作り手と一緒に商品を考える機会も増えてほしいです。そうした取組を通じて産業を身近に感じ、将来「新潟県の繊維業界で働いてみたい」と思う若者が、少しずつ増えていったら嬉しいです。

吉田バテンレース

今回のご縁を一度きりで終わらせず、新潟のものづくりを次へつなぐスタートにしたいと強く願っています。県内外で世代を問わず楽しめるイベントやワークショップを開催し、まずは新潟のものづくりの素晴らしさを知っていただく。そして「知る」から「手に取る」へ。ニット×バテンレースなど、今回の衣装から生まれた可能性を日常の商品へ展開し、新たな需要につなげていきたい。今回のTGC新潟を、新潟そして日本が誇るものづくりを次へつなぐ第一歩にできたらと思います。

立川織物

亀田縞だけでなく伝統的な上質な生地を活かし、ファッションはもちろん、国内外のアートや音楽フェスで映える空間づくりをしてみたいです！汗ばむ季節でも快適な通気性と動きやすさを兼ね備え、日本の伝統美を世界へ発信する新しいスタイルを提案したいです。

（株）亀紺屋

今回の機会を受け、自社ブランドの自信につながりました。今後は生地、縫製まで全て新潟で完結できるようにしていきたいと思います。そして未来は「ｃｈｅｓｓコレクション」コーナーを作りたいです。

（株）横正機業場

温暖化が進む中で、絽や紗といった軽くて通気性のよい絹素材が、現代の生活にどう貢献できるかは考えていきたいです。また肌面にはシルク、装飾をニットなどの組み合わせがあってもよいかと思ったりしました。

（株）アオ

新潟のものづくりの奥深さを、改めて感じることができたし、一社では難しいこともコラボレーションなどでクリアすることができるのではないかと感じました。国内生産が1％を切りそうな状況になる中で、県内でのサプライチェーンを持続可能な方向で、新潟県に是非整備いただければと思います。

（株）ナック

ファッションだけに限らず、音楽やアート、地域の企業やクリエーターなど、いろいろな分野とものづくりを掛け合わせる事で、新しい表現を生み出せたらなと思いました。

（株）ウメダニット

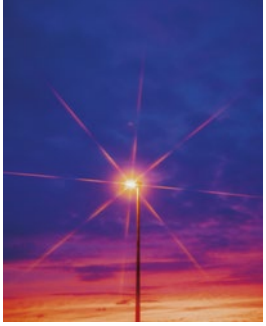
このようなイベントを継続的にやってほしいです。

（株）匠の夢

輸出など、弊社の生地を世界に広めたいです。



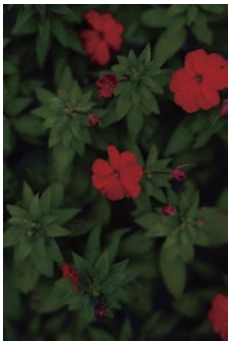




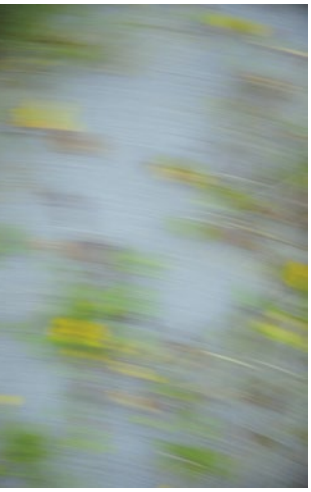


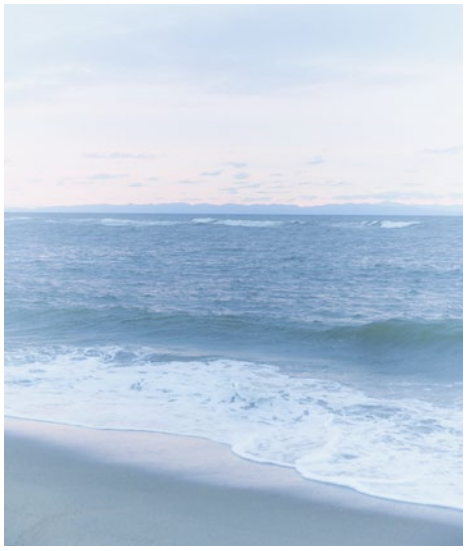


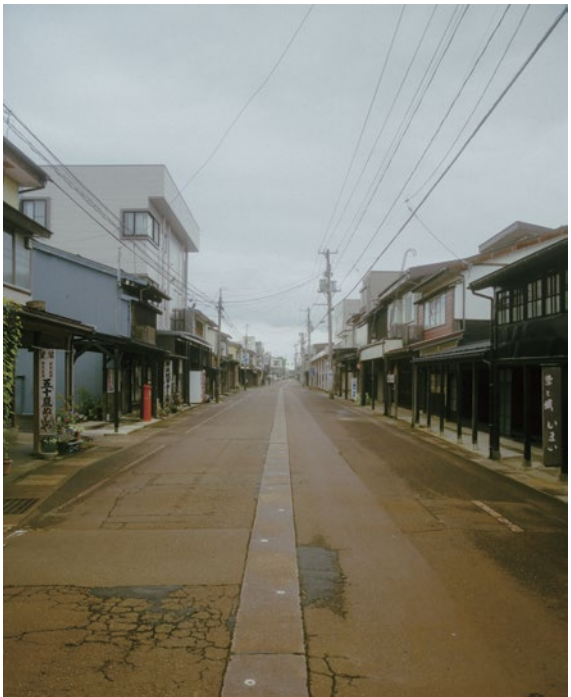












私たちは体験を終え、経験を始める。

Epilogue

文・蓮沼千紘（ニットアーティスト）

2026年7月18日、朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンターにて NAMICS presents TGC NIIGATA 2026 by TOKYO GIRLS COLLECTION が開催されました。冒頭のランウェイショー、TGC NIIGATA SPECIAL COLLECTION では、国内有数の繊維産地として世界に誇る技術力と、トップクリエイターの感性が融合したスペシャルなルックを披露しました。

ショールックには、各社の製品と私の作品を組み合わせたスタイリングや、製品を素材として衣装に取り入れたものがありました。また、開催月の7月に旬を迎える新潟の伝統野菜を柄にしたジャカードニットや、土地にゆかりのある花をモチーフにしたオリジナルのバテンレースなど、産地の皆さんと一から制作した衣装もあります。

やりがいは、どこから来て、どこへ行くのか?

私にとって、デザインは思いつくことです。頭に思い描いたものを、編むという技法で具現化する。作品を編み、発表し、販売する。その繰り返しの中で、自分の才能に期待し、それに応え、自分を信頼する力を養いました。やがて期待は、受け手や制作の依頼者から寄せられるようになりました。「次はどんなものが編まれるのか」「着たらどう見えるのか」「こんなものをつくってほしい」。今度は、外からの期待に対して、自分ならやれるとまた自分に期待し、応える。その循環はときにプレッシャーになり、同時に心地よい緊張感と挑戦する力を与えてくれます。

衣装制作をともに進める中で見えてきたのは、産地の各社も、それぞれの技法とこだわりでものを形にし、内外からの期待に応え、信頼を重ねているという共通性です。産地は私に期待を寄せ、私は産地に期待を寄せた。だからこそ、お互いを信頼し、リスペクトを持ち、一つの衣装、ルック、ショーをつくり上げることができました。

産地の工場や工房が日々つくる服は、多くの人々の暮らしの中で身につけられています。お気に入りの服を着ることで気持ちが良くなり、周囲の人への接し方にもつながっていく。一人ひとりの幸福は社会全体を良くすると信じています。

衣装は同じものを多くの人が着ることはできません。それでも、着る人のパフォーマンスや映像、写真を通して、大勢の人の心を動かすことができます。既製品と衣装では、つくり方や届け方が異なっていても、人や社会を幸せにするためのものづくりであることに変わりはありません。

ものから与えられる幸福感は、もちろん作り手にも還元されるべきです。自分たちがつくったものが手を離れ、誰かに届き、社会にどのような影響を与えるのか。普段は見えにくい関係性をステージやメディアを通して実感できることも、衣装制作に携わる大切な意味だと思います。自分たちがつくったものが誰かの心を動かしている。その実感が、誇りや次の挑戦への力になります。

変わらないものが、きっと変わる力になる。

短い制作期間の中で完成度の高い衣装をつくるには、技術だけではなく、目指す造形を想像し、自ら考え、提案し、行動する力が必要です。新潟の産地にはその力がありました。年月をかけて変わらずものづくりに向き合ってきた姿勢と、積み重ねた仕事から生まれた自信が、新しい挑戦を支えました。ランウェイショーは終わりではなく、始まりにする。イベントが終了しても産地との関わりは続いています。

ショーの衣装はアーティストのアルバムのカバー写真で着用されました。また、新潟の産地とともに12月放送予定の CM 衣装を制作しました。さらに来年デビュー予定のアーティストの衣装制作にも産地の生地を使用しています。私が手掛けるハンドニットレーベル「an/eddy」と産地が協働し、作品を制作して国内外で販売する計画も進めています。新潟の産地の皆さんが、いつもとは少し変わったことをすることで、新潟を飛び出し、日本を飛び出し、多くの人に可能性を感じてもらう。そこから様々なアーティストや、アパレル以外のジャンルとのコラボレーションが実現していくことを願います。

私たち作り手が、つくり、届ける経験を重ねることで、受け手にも、見たり、聞いたり、手に取ったりする経験が積み重なっていく。その中で生まれる反応や期待が、私たちの次の制作を動かしていくのだと思います。

ランウェイの先へ、つくる側と受け取る側が互いに影響を与え合いながら、ものづくりの未来をともにつくっていきたいと思います。



Map



新幹線停車駅からの移動時間目安
①②…新潟駅から車で約20分
③④⑤…新潟駅から車で約45分
⑥…長岡駅から車で約25分
⑦…上越妙高駅から車で約10分
⑧…糸魚川駅から車で約15分

① （株）亀紺屋（新潟市中央区）
新潟県新潟市中央区関南町 10-37
p9.18.19.24

② 立川織物（新潟市江南区）
新潟県新潟市江南区袋津 3-1
p8.12.18.24

③ （株）ナック（五泉市）
新潟県五泉市太田 619
p2.3.6.8.9.13.18.19.22

④ （株）横正機業場（五泉市）
新潟県五泉市吉沢 1-2-38
p9.10.11.25

⑤ （株）ウメダニット（五泉市）
新潟県五泉市今泉 137
p14.15.16.17.22

⑥ （株）匠の夢（見附市）
新潟県見附市本所 1-4-17
p6.7.9.23

⑦ 吉田バテンレース（上越市）
新潟県上越市東本町 2-2-2
p2.3.4.5.8.12.13.25

⑧ （株）アオ（糸魚川市）
新潟県糸魚川市大字中宿 942
p8.12.14.15.23